

PTA活動

「地域がはぐくむ『かごしまの教育』県民週間」での活動

鹿児島市立大明丘小学校PTA会長 もりやま けいぞう 森山 敬三

学校自由参観期間

たいへん教育に関心の高い地域であることから、普段から小学校への保護者や地域の方々の出入りも多く、子どもたちの登下校を含め、学校での様子もよく見ていただいています。こうした環境で、「県民週間」ということもあり、一週間の特設週間を設け、全学級の授業や学校行事等を保護者の皆様や地域の方々に広く広報しています。その様子をいくつか紹介します。

また、この日は別に、1年生の保護者と児童と一緒に給食を食べながらふれあう場を設けています。参加された保護者の皆さんにとっては、昔(小学校時代)の思い出話にも花を咲かせながら、学校給食への理解や保護者同士の食に対する情報交換の場ともなっているようです。

あおぞら集会

合奏や合唱、音楽劇など、学年単位を基本に日頃の学習の成果を発表しています。創意工夫され

給食試食会

学校評議員や民生委員



1年生親子による給食試食会

本校は、現在408人の児童が在籍しています。一時期は1,000人を超す大規模校でした。しかし、平成27年までの国家公務員宿舍廃舎計画により、現在のようになり児童数も少しずつ減少してきています。歴史的には、明治のはじめに活躍した桐野利秋(中村半次郎)や別府晋介の生家など由緒あるところも多く点在し、保護者や地域住民の教育に対する関心は極めて高く、非常に協力的です。そうした校区での「地域がはぐくむ『かごしまの教育』県民週間」の一端を紹介します。

た発表に、保護者の方々

はもちろんのこと、地域の方々にもたいへん好評で、たくさんの方々が参観においでくださっています。

本校のキャッチフレーズである、「花と歌声と読書に満ちた学校」の取組の一端を見ていただける機会にもなっています。

日曜参観

これまでは、6月の初旬に実施していましたが、今年度は試行的に、この県民週間の時期に計画してみました。例年は、



日曜参観での親子ふれあい授業

お父さん方の出席も多く、おじいちゃん、おばあちゃんの方の姿も多く見かけます。先生方も普段

以上に授業を工夫し、そのうした保護者の出席に合わせ、ふれあい授業を組む学級、学年も多く見ら

れます。

PTA友愛バザー

保護者および地域の方々に参加を呼びかけ、PTA主催のバザーを校内で実施しています。提供品や食材の販売等におよびの会やスポーツ少年団も加わり、地域、学校、保護者が一体となった取組となっています。

PTA主催による教育講演会の企画

これまで家庭教育学級などで一部の保護者の出席による研修会等は行われてきましたが、P

TA会員全員を対象とした学習の機会をなかなか企画することができませんでした。そうしたことから、本年度は、教育講演会も11月に実施してみようということになりました。

この講演会を実施することで、保護者同士の共通課題、共通話題となってくればと願っています。こうした繋がりが、より保護者同士の協力体制を強め、子どもたちの成長につながっていくことを期待しています。